

# 2024年度(2025年3月期) 第1四半期 決算説明会

2024年 7月 31日  
セイコーエプソン株式会社

## ■ Q1実績

- 対前年同期
  - ✓ 事業ごとに実績に濃淡はあるものの、円安によるプラス影響もあり、売上収益、事業利益ともに増加
    - ・ 商業・産業プリンティングにおけるプリントヘッドの販売増加
    - ・ 半導体は市場での在庫調整が継続し販売減少
- 対社内計画
  - ✓ 円安影響に加え、プリントヘッド外販が好調に推移したことや、オフィス・ホームプリンティングのプロモーション時期を見直したことなどにより、売上収益、事業利益ともに計画を上回る

## ■ 2024年度通期業績予想(対4/26前回予想)

- 経済環境は厳しい状況が継続
- 好調なプリントヘッド外販を引き上げた一方、下期に回復を想定していたマイクロデバイスやロボットなどで引き合い状況を踏まえ引き下げ
- 為替前提を円安に見直したことにより上方修正

- 本日のポイントについてご説明します。
- 厳しい経済環境が続く中、第1四半期は、半導体の販売が低調に推移したものの、商業・産業プリンティングのプリントヘッドの販売が増加したことに加え、円安によるプラス影響もあり、売上収益、事業利益ともに増加しました。
- 通期では、好調なプリントヘッド外販を引き上げた一方、下期に回復を想定していたマイクロデバイスやロボットなどで引き合い状況を踏まえ引き下げますが、為替前提を円安に見直したことにより、通期業績予想を上方修正します。

- 第1四半期実績
- 2024年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

	2023年度		2024年度		対前年同期	
	Q1実績	%	Q1実績	%	増減額	増減率
(億円)						
売上収益	3,148		3,366		+217	+6.9%
事業利益	155	5.0%	234	7.0%	+79	+50.6%
営業利益	197	6.3%	224	6.7%	+27	+14.0%
税引前利益	282	9.0%	268	8.0%	-13	-4.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	201	6.4%	191	5.7%	-10	-5.1%
EPS*1 (円)	60.90		57.78			
為替レート (円、指数)	USD	¥137.18	¥155.79			
	EUR	¥149.40	¥167.74			
	その他通貨*2	100	112			

- 営業利益
  - ・その他の営業費用にシンガポールの製造拠点再編に関する費用を、その他の営業収益に円安進行による為替差益を計上
- 税引前利益
  - ・金融収益に円安進行による為替差益を計上

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+128	+59	+105	+293
事業利益	-39	+36	+71	+69

\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益  
\*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

➤ 第1四半期の実績をご説明します。

- 売上収益は、為替によるプラス影響もあり、前年同期に対して217億円増収の3,366億円、事業利益は79億円増益の234億円となりました。
- その他の営業費用には、シンガポールの製造拠点再編に関する費用を計上した一方、その他の営業収益および金融収益に円安進行による為替差益を計上しました。
- これらの結果、四半期利益は191億円となりました。
- 前回予想の前提となる社内計画に対しては、急速に進行した円安により、プラス影響を受けました。
- 加えて、プリントヘッド外販が好調に推移したことや、オフィス・ホームプリンティングのプロモーション時期見直しなどにより、売上収益、事業利益、ともに計画を上回りました。
- 次のスライド以降で、各事業の計画差異についてもご説明します。

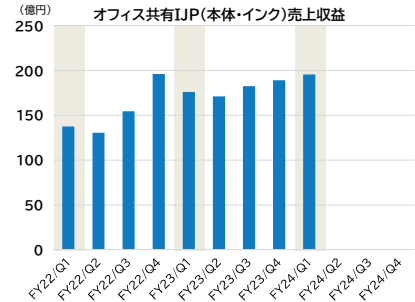
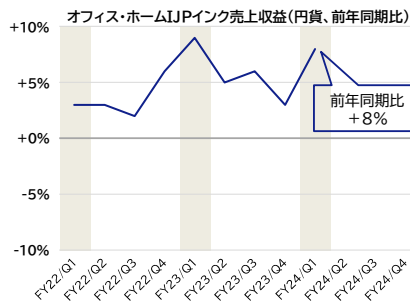
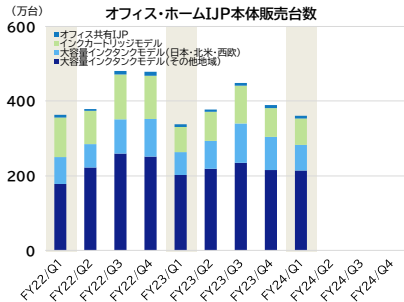
プリンティングソリューションズ		2023年度 Q1実績	2024年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益		2,151	2,359	+208	+207	+9.7%
セグメント利益		223	296	+72	+44	+32.5%
セグメント利益率		10.4%	12.5%			

オフィス・ホームプリンティング		2023年度 Q1実績	2024年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益		1,498	1,610	+112	+139	+7.5%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) <sup>*1</sup>		1,142	1,247	+105	+9.2%	+9.2%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) <sup>*2</sup>		176	195	+19		+11.1%
その他 <sup>*3</sup>		179	167	-12		-7.0%
事業利益		126	132	+6	+12	+5.1%
事業利益率		8.4%	8.2%			

- オフィス・ホームプリンティング
- IJP本体販売数量は、チャネル在庫調整があった前年同期比+7%。競合の価格攻勢影響がある中、販売数量を増加させ、本体売上は現地通貨ベース+1%、円貨+11%
  - IJPインク売上は、大容量インクボトル、オフィス共有インクが増加し安定的に推移、前年同期比で現地通貨ベース-1%、円貨+8%
  - 増収影響に加え、固定費の抑制や、海運運賃の改定効果による輸送費の減少などにより増益

\*1: iCモデル、大容量インクタンクモデル本体、インクなど \*2: オフィス用iCモデル、RIPS-LIJ本体、インクなど \*3: スキャナー、SIDM、LP、型式オフィス製紙機など

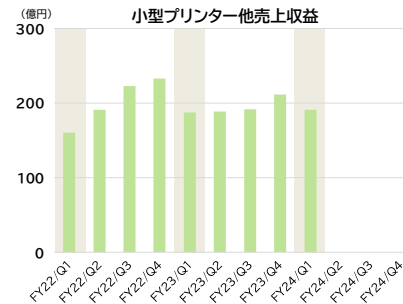
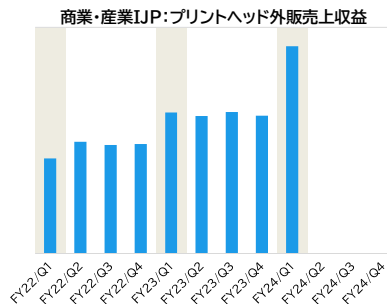
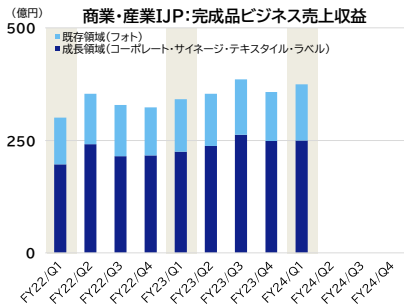


- プリンティングソリューションズの実績はご覧のとおりです。
- 売上収益は 208億円の増収となる 2,359億円、セグメント利益は 72億円増益の 296億円となりました。
- オフィス・ホームプリンティングの売上収益は、円安影響により増収となる 1,610億円となりました。
- SOHO・ホームIJP本体は、競合の価格攻勢影響がある中、販売数量を増加させ、本体の売上は現地通貨ベースでは前年同期並みとなりました。加えて、円安影響により増収となりました。
- IJPインクの売上は、インクカートリッジが減少したものの、本体の市場稼働台数増加により大容量インクボトルとオフィス共有インクが増加したことに加え、円安影響があり増収となりました。
- オフィス共有IJPの売上収益は、本体数量およびインク販売の増加に加え、円安影響により増収となりました。
- 事業利益は、これらの増収影響に加え、固定費の抑制や、海運運賃の改定による輸送費の減少および円安影響により、増益となる 132億円となりました。
- なお、社内計画に対しては、円安影響に加え、IJP本体の価格が想定を上回ったことやプロモーション時期の見直しなどにより、オフィス・ホームプリンティングの売上収益、事業利益は、ともに計画を上回りました。

商業・産業プリンティング	(億円)				
	2023年度 Q1実績	2024年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	653	748	+95	+68	+14.6%
商業・産業IJP	466	557	+91		+19.6%
小型プリンター他	187	191	+4		+2.2%
事業利益	97	163	+66	+31	+68.2%
事業利益率	14.9%	21.8%			

## ■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJP完成品は、顧客での投資抑制影響を受けながらも、ラベルやコーポレートなどは販売増加
- プリントヘッド外販は、輸出も手掛ける中国メーカーへの販売が好調
- 小型プリンター他は、欧米を中心に小売業界や飲食業界などで投資抑制が継続
- 増収影響に加え輸送費の減少などにより、大幅な増益



- 商業・産業プリンティングは、売上収益が 748億円、事業利益は 163億円となりました。
- 商業・産業IJPの完成品は、金利高による顧客での投資抑制影響を受けたものの、ラベルやコーポレートなどの販売増加に加え、円安影響により増収となりました。
- プrintヘッド外販は、輸出も手掛ける中国の商業・産業プリンターメーカーへの販売が好調で、大幅な増収となりました。
- 小型プリンター他は、金利高により、欧米の中小企業を中心に、小売業界や飲食業界などで投資抑制が継続しており、前年同期並みの売上となりました。
- 商業・産業プリンティングの事業利益は、完成品やプリントヘッド外販の増収影響や、輸送費の減少などにより、大幅な増益となりました。
- なお、社内計画に対しては、完成品は計画通りに推移し、プリントヘッド外販が好調に推移したことに加え、円安影響もあり、売上収益、事業利益ともに計画を上回りました。

ビジュアルコミュニケーション	2023年度 Q1実績	2024年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	529	556	+27	+57	+5.2%
セグメント利益	67	77	+9	+20	+14.6%
セグメント利益率	12.8%	14.0%			

◆ プロジェクターの販売動向\*

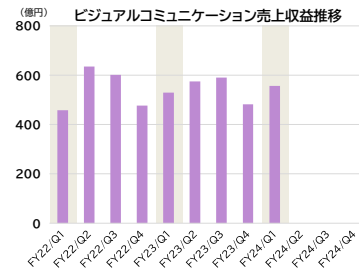
	2023年度 Q1実績	2024年度 Q1実績
売上収益(円貨)	+17%	+5%
売上収益(現地通貨)	+12%	-6%
販売台数	+4%	-8%

\* 社内管理簿に基づく指標  
 伸長率は前年同期比

マニファクチャリング関連・ ウェアラブル	2023年度 Q1実績	2024年度 Q1実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	473	453	-20	+29	-4.3%
マニファクチャリングソリューションズ	69	68	-1		-1.5%
ウェアラブル機器	88	104	+16		+18.5%
マイクロデバイス他	277	248	-29		-10.5%
PC	46	42	-3		-7.9%
事業間売上収益	-8	-10	-2		-
セグメント利益	7	-3	-11	+7	-
セグメント利益率	1.7%	-0.7%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- 北米や中国、中東などでプロジェクターの販売数量が減少したものの、モデルミックス良化や円安影響により増収

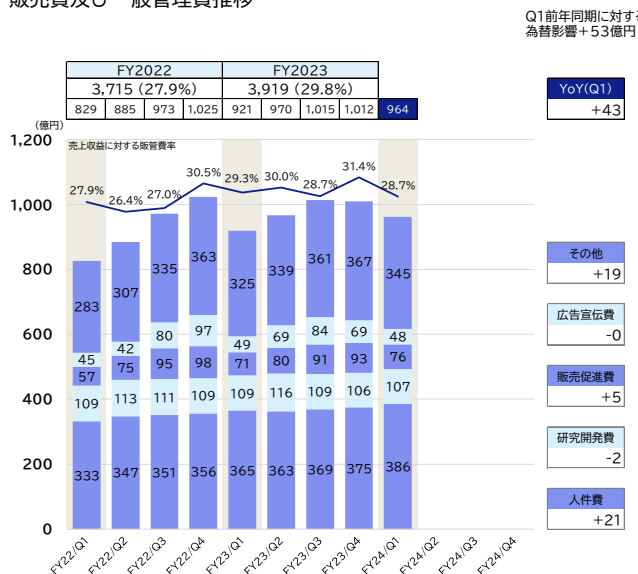


■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

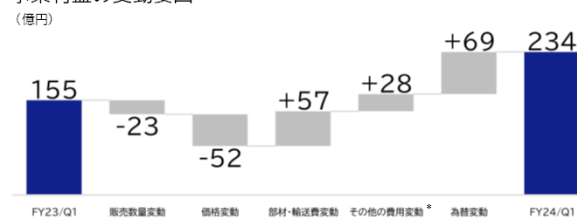
- マニファクチャリングソリューションズは、スカラロボットの市場が中国を中心に軟調に推移
- ウェアラブル機器は、インバウンド需要が回復傾向
- マイクロデバイス他は、主に半導体で受注残の解消があった前年同期に対して減収

- ▶ ビジュアルコミュニケーションは、北米や中国、中東などでプロジェクターの販売数量が減少したものの、モデルミックスの良化や円安影響により、売上収益は 27億円増収の 556億円、セグメント利益は 9億円増益の 77億円となり、増収増益となりました。
- ▶ 社内計画に対しては、ホーム向けを中心に想定には届かなかったものの、円安影響により、売上収益、セグメント利益ともに概ね計画通りとなりました。
- ▶ マニファクチャリング関連・ウェアラブルの売上収益は、円安影響があったものの、20億円減収の 453億円となりました。
- ▶ マニファクチャリングソリューションズは、民生機器などの搬送や組立に用いるスカラロボットの市場が、中国を中心に軟調に推移しました。
- ▶ ウェアラブル機器の売上収益は、回復傾向のインバウンド需要などにより増収となりました。
- ▶ マイクロデバイス他は、主に半導体で受注残の解消があった前年同期に対して、減収となりました。
- ▶ セグメント利益は、減収影響により 11億円減益の 3億円の損失となりました。
- ▶ なお、社内計画に対しては、売上収益、セグメント利益ともに計画通りとなりました。

## 販売費及び一般管理費推移



## 事業利益の変動要因



### 数量変動

+ プリントヘッド、大容量インクタンクモデルなど  
- 半導体、プロジェクターなど

### 価格変動

+ ウォッチ、プロジェクターなど  
- オフィス・ホームIJP本体など

### 部材・輸送費変動

+ 主に海運運賃改定効果による輸送費の減少

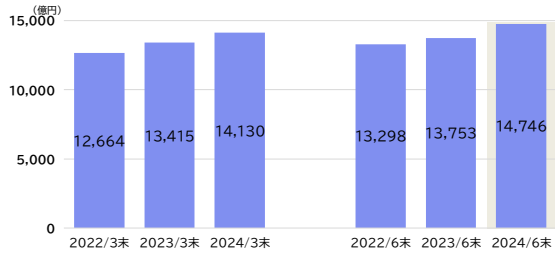
### その他の費用変動

+ 固定費の減少、在庫変動に伴い発生したマイナス影響が当四半期は減少

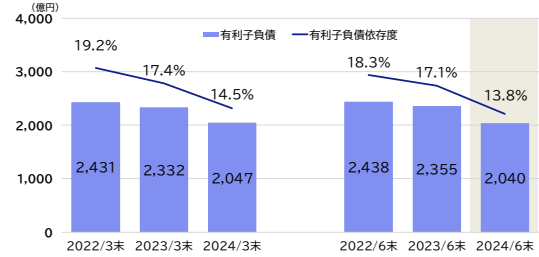
- 販売費及び一般管理費推移は、左のグラフの通りです。
- 当四半期は前年同期から 43億円増加しましたが、これは為替変動によるものです。
- なお、販管比率は 28.7%となり、適正に費用コントロールを継続しています。
- 事業利益の変動要因を、右のグラフでご説明します。
- 数量は、プリントヘッドや大容量インクタンクモデルなどでプラスとなったものの、半導体やプロジェクターなどのマイナスが上回りました。
- 価格は、ウォッチやプロジェクターなどでプラスとなりましたが、オフィス・ホームIJP本体などのマイナスが上回りました。
- また、海運運賃改定効果による輸送費の減少に加え、その他の費用変動では、固定費の減少や、在庫変動に伴い発生したマイナス影響が当四半期は減少しました。



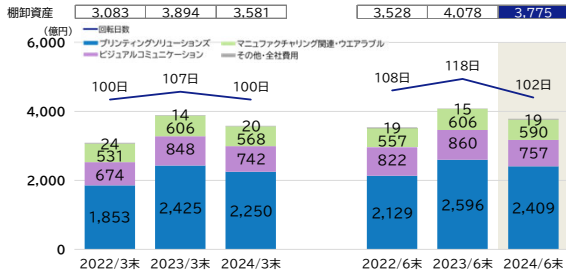
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



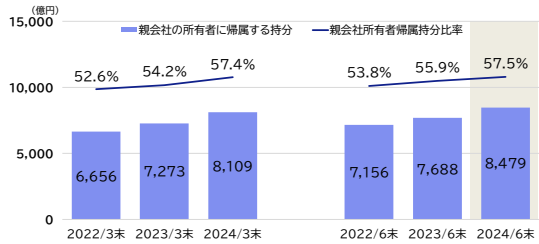
棚卸資産・回転日数



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



\*回転日数(3月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高/連結会計期間末直前1ヶ月間の1日当たり売上収益  
 \*回転日数(6月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高/連結会計期間末直前3ヶ月間の1日当たり売上収益

- 財政状態計算書の主要項目は、ご覧のとおりです。
- 棚卸資産は、2023年度は期初から期末にかけて、生産調整や部品調達の抑制などにより、在庫削減を進めました。
- 2024年度の第1四半期は、在庫は通常どおり商戦期に向けて増加させています。

- 第1四半期実績
- 2024年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

(億円)	2023年度		2024年度		増減額 / 増減率	
	実績	%	4/26予想	%	7/31予想	%
売上収益	13,139		13,300		13,700	
事業利益	647	4.9%	800	6.0%	850	6.2%
営業利益	575	4.4%	710	5.3%	770	5.6%
税引前利益	700	5.3%	680	5.1%	770	5.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	526	4.0%	480	3.6%	540	3.9%
EPS*1 (円)	158.68		144.74		162.83	
為替レート (円、指数)	USD	¥144.44	¥144.00		¥151.00	
	EUR	¥156.66	¥155.00		¥163.00	
	その他通貨*2	100	100		102	

■ 営業利益・税引前利益  
・為替差損益の予想を変更

\*1 EPS : 基本的1株当たり当期利益  
\*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示  
\*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

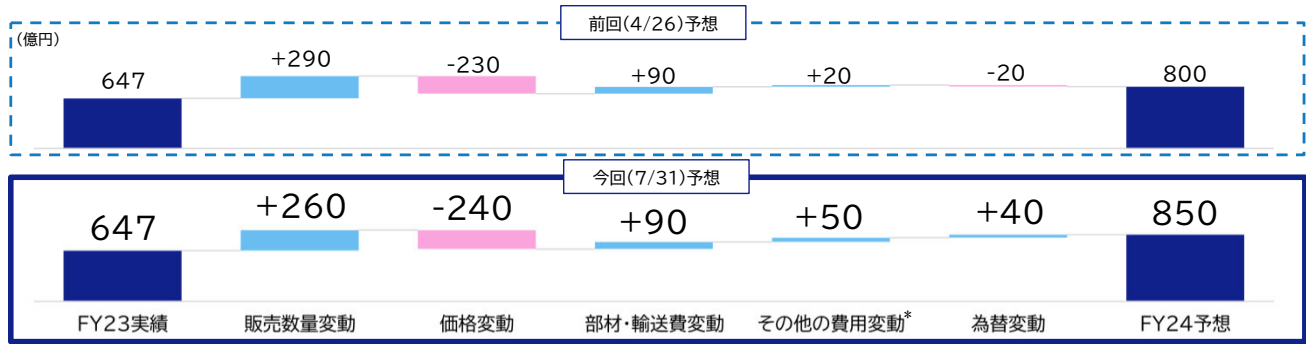
為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替影響額 見込み(億円)	第2四半期以降の 為替前提(円)	USD	EUR
売上収益	-29	-15	-48	+340		150.00	
事業利益	+9	-9	-27	+40			161.00

➤ 続いて、2024年度の通期業績予想についてご説明します。

- 為替前提を円安に見直したことにより、売上収益は 1兆3,700億円、事業利益は 850億円に上方修正します。
- また、当期利益は、為替差損益の予想を変更した結果、540億円を予想します。

## ■ 対前回予想

- 為替変動は、円安によるプラス影響を見込む
- 販売数量は、第1四半期から好調なプリントヘッド外販で引き上げた一方、下期に回復を想定していたマイクロデバイスやロボットなどで引き合い状況を踏まえ引き下げ
- 価格は、リスクとして、主にオフィス・ホームIJP本体で価格対応をさらに織り込む
- その他の費用は、販売・生産数量減少に伴う費用減少・抑制などを織り込む



- 事業利益の増減要因について、前回予想からの主な変化をご説明します。
- 円安によるプラス影響が大きな変更点となります。
- 年間の販売数量は、第1四半期から好調なプリントヘッド外販で引き上げた一方、下期に回復を想定していたマイクロデバイスやロボットなどで引き合い状況を踏まえ引き下げました。
- 価格は、リスクとして、主にオフィス・ホームIJP本体に、価格対応をさらに織り込みました。
- なお、その他の費用は、販売・生産数量減少に伴う費用減少・抑制などを織り込みました。

プリンティングソリューションズ	2023年度 実績	2024年度 4/26予想	2024年度 7/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対4/26 予想
売上収益	9,186	9,240	9,590	+403	+4.4%	+350
セグメント利益	961	1,050	1,130	+168	+17.6%	+80
セグメント利益率	10.5%	11.4%	11.8%			

オフィス・ホームプリンティング	2023年度 実績	2024年度 4/26予想	2024年度 7/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/26 予想
売上収益	6,508	6,410	6,620	+111	+1.7%	+210
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) <sup>*1</sup>	5,084	4,900	5,100	+15	+0.3%	+200
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) <sup>*2</sup>	718	860	860	+141	+19.6%	-
その他 <sup>*3</sup>	705	650	660	-45	-6.4%	+10
事業利益	536	550	560	+23	+4.3%	+10
事業利益率	8.2%	8.6%	8.5%			

\*1:I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど \*2:オフィス向けI/Cモデル・RIPS-LI本体、インクなど \*3:スマーナー、SIDM、LP、部成オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2023年度 実績	2024年度 4/26予想	2024年度 7/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	対4/26 予想
売上収益	2,679	2,830	2,970	+290	+10.8%	+140
商業・産業IJP	1,930	2,060	2,190	+259	+13.4%	+130
小型プリンター他	748	770	780	+31	+4.2%	+10
事業利益	424	500	570	+145	+34.3%	+70
事業利益率	15.8%	17.7%	19.2%			

## ■ オフィス・ホームプリンティング

・円安による為替影響を反映

◆ 販売動向  
(社内管理値に基づく指標)

	FY23 実績	FY24 4/26予想	FY24 7/31予想	
オフィス・ホームIJP 本体販売数量	伸長率 約、万台	1,555	1,600	1,600
内 SOHO・ホーム向け 大容量インクタンクモデル		1,200	1,265	1,265
内 SOHO・ホーム向け I/Cモデル		325	300	300
内 オフィス共有IJP		30	35	35
オフィス・ホームIJP インク売上収益伸長率	(円貨) (現地通貨)	+6%	-3%	+0%
		-0%		

## ■ 商業・産業プリンティング

・好調なプリントヘッド外販を中心に上方修正

- 次に、事業セグメント別にご説明します。
- プリンティングソリューションズは、  
前回予想から売上収益、セグメント利益ともに上方修正します。
- オフィス・ホームプリンティングは、主に円安による為替影響を反映しました。
- 商業・産業プリンティングは、好調なプリントヘッド外販を中心に上方修正  
します。

ビジュアルコミュニケーション	2023年度 実績	2024年度 4/26予想	2024年度 7/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対4/26 予想
売上収益	2,174	2,200	2,270	+95	+4.4%	+70
セグメント利益	315	370	370	+54	+17.1%	-
セグメント利益率	14.5%	16.8%	16.3%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- ・ 軟調なホームプロジェクターなどの市場環境を踏まえ、販売台数を引き下げたものの、円安影響により、売上収益は上方修正、セグメント利益は据え置き

◆ プロジェクターの販売動向\*

	2023年度 実績	2024年度 4/26予想	2024年度 7/31予想
販売台数(約、万台)	180	185	175
伸長率	-5%	+3%	-1%

\* 社内管理値に基づく指標  
伸長率は前年同期比

マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	2023年度 実績	2024年度 4/26予想	2024年度 7/31予想	対前期 増減額	対前期 増減率	(億円) 対4/26 予想
売上収益	1,799	1,870	1,850	+50	+2.8%	-20
マニュファクチャリングソリューションズ	247	260	240	-7	-3.1%	-20
ウェアラブル機器	347	350	370	+22	+6.5%	+20
マイクロデバイス他	1,043	1,070	1,050	+6	+0.6%	-20
PC	196	230	230	+33	+17.1%	-
事業間売上収益	-35	-40	-40	-4	-	-
セグメント利益	-15	40	0	+15	-	-40
セグメント利益率	-0.9%	2.1%	0.0%			

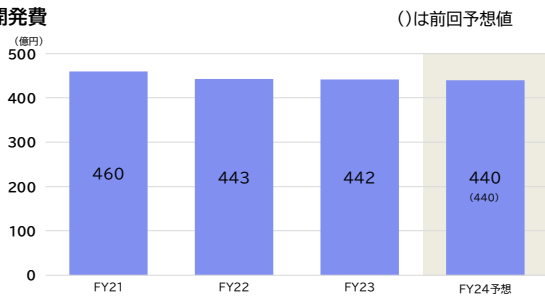
■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

- ・ マニュファクチャリングソリューションズは、顧客の投資意欲停滞の影響を織り込み
- ・ ウェアラブル機器は、インバウンド需要の回復などを反映
- ・ マイクロデバイス他は、半導体を中心に市場の在庫調整が長期化

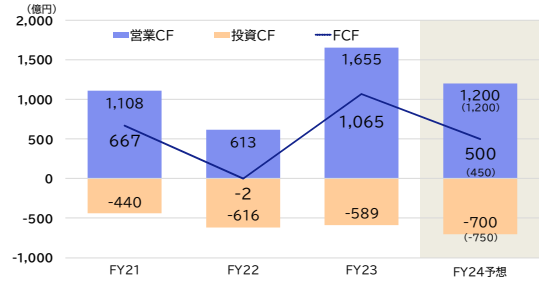
- ビジュアルコミュニケーションは、軟調なホームプロジェクターなどの市場環境を踏まえ、販売台数を引き下げたものの、円安影響により、売上収益は上方修正、セグメント利益は据え置きます。
- マニュファクチャリング関連・ウェアラブルは、売上収益、セグメント利益ともに下方修正します。
- マニュファクチャリングソリューションズは、顧客の投資意欲停滞の影響を織り込みました。
- ウェアラブル機器は、インバウンド需要の回復などにより上方修正します。
- マイクロデバイス他で、半導体を中心に市場の在庫調整が想定以上に長引いていることを踏まえました。

# 2024年度 通期業績予想 | 主要費用、フリー・キャッシュ・フロー、経営指標 EPSON

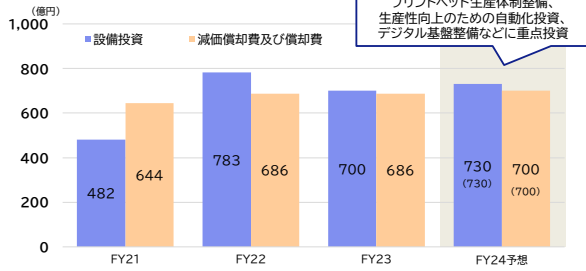
## 研究開発費



## フリー・キャッシュ・フロー



## 設備投資・減価償却費及び償却費



主要経営指標	FY21 実績	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	FY25 中期目標(前)
為替レート:USD/円	112.37	135.44	144.44	151.00	-
為替レート:EUR/円	130.55	140.90	156.66	163.00	-
売上収益 (億円)	11,289	13,303	13,139	13,700	-
事業利益 (億円)	896	951	647	850	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	922	750	526	540	-
ROS <sup>*1</sup>	7.9	7.1	4.9	6.2%	7%以上
ROA <sup>*2</sup>	7.4	7.3	4.7	6.1%	-
ROE <sup>*3</sup>	15.2	10.8	6.8	6.7%	8%以上
ROIC <sup>*4</sup>	7.3	7.1	4.6	5.9%	7%以上

\*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益  
 \*2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均  
 \*3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均  
 \*4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)  
 税引後事業利益は、事業利益から実効税率相当額を控除した金額  
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

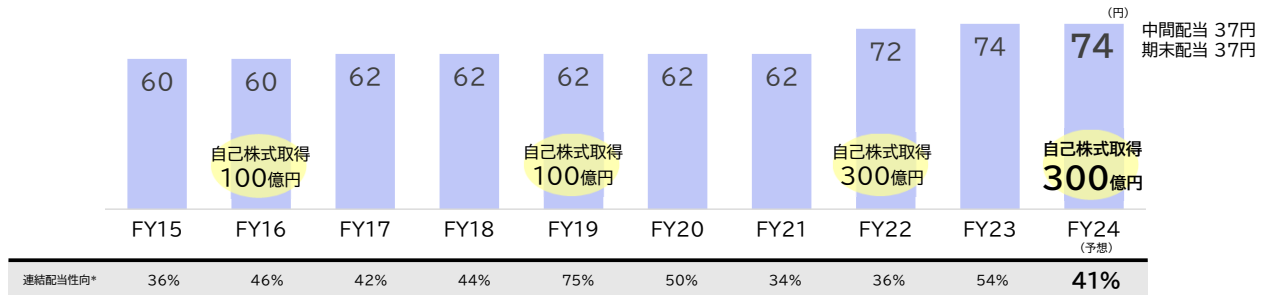
- 研究開発費、設備投資、減価償却費に変更はありません。
- フリー・キャッシュ・フローは、500億円に引き上げます。
- これは、投資執行時期の見直しに伴い、投資キャッシュフローを変更したことによるものです。
- 主要経営指標はご覧のとおりです。

## ■ 配当

- 2024年度の1株当たり年間配当は74円を予想
  - ✓ 中期的には連結配当性向\*40%程度を目標に、安定的な配当を継続

## ■ 自己株式取得

- 2024年度に300億円を上限とする自己株式取得を開始  
(取得期間:2024年7月18日~2025年3月31日)
- 今回新たに取得する自己株式は、全株式を消却する方針

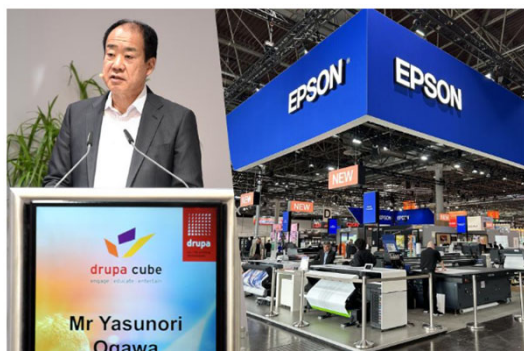


\* 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出

- 株主還元についてご説明します。
- 当期の1株当たり年間配当は、予想に変更はなく 74円です。
- また、前回発表した 300億円を上限とする自己株式取得を、予定どおり 7月から開始しました。
- なお、今回新たに取得する自己株式は、全株式を消却する方針です。
- 今後も、安定的かつ積極的な株主還元を実施していきます。



- 第1四半期実績
- 2024年度通期業績予想・株主還元
- トピックス

世界最大級の印刷・メディア産業展  
drupa 2024に出展

豊富なラインアップの展示や講演で  
商業・産業印刷ソリューションを訴求

東北エプソン、IJP用ヘッド製造の  
新棟建設を開始

商業・産業向けなどの需要高まりを見込み  
生産能力(後工程)を増強

- 最後に、当四半期のトピックスについてご紹介します。
- 世界最大級の印刷・メディア産業展であるdrupa 2024に出展し、豊富なラインアップの展示や講演により、エプソンの商業・産業印刷ソリューションを訴求しました。
- また、東北エプソンではインクジェットプリンター用ヘッド製造の新棟建設を開始しました。
- これは、商業・産業向けプリンターなどの需要高まりを見込み、生産能力を増強するものです。
- エプソンは、引き続き、強みであるプリントヘッドの開発・生産を強化し、インクジェットの価値をさまざまな領域のお客様にお届けしてまいります。

**EPSON**

## 補足資料

# 主要製品の販売動向

				FY2023 Q1実績	FY2023 Q2実績	FY2023 Q3実績	FY2023 Q4実績	FY2023 通期 実績	FY2024 Q1実績	FY2024 通期 予想
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比				USD	137.18	144.47	147.78	148.31	144.44	155.79
				EUR	149.40	157.20	158.98	161.07	156.66	167.74
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+1%	+3%	-4%	-13%	-4%	+11%	+4%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-3%	-2%	-9%	-21%	-10%	+1%	
		本体数量	伸長率	-7%	-0%	-7%	-19%	-9%	+7%	+3%
		本体数量	万台					約1,555		約1,600
		内 SOHO・ホーム向け大容量インクタンクモデル	万台					約1,200		約1,265
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約325		約300
		内 オフィス共有IJP	万台					約30		約35
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					38%		37%
		売上収益(円貨)	伸長率	+9%	+5%	+6%	+3%	+6%	+8%	+0%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+5%	-1%	+1%	-6%	-0%	-1%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+17%	-10%	-2%	+1%	+0%	+5%	+5%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+12%	-15%	-7%	-9%	-6%	-6%	
		本体数量	伸長率	+4%	-10%	-5%	-8%	-5%	-8%	-1%
		本体数量	万台					約180		約175

# 財務データ(2023年度・2024年度)

EPSON

		(億円)									
		FY2023	FY2023	FY2023	FY2023	FY2023	FY2024	FY2024	FY2024	FY2024	FY2024
		Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予想
為替レート (円)	USD	137.18	144.47	147.78	148.31	144.44	155.79				151.00
	EUR	149.40	157.20	158.98	161.07	156.66	167.74				163.00
プリンティングソリューションズ	売上収益	2,151	2,221	2,510	2,302	9,186	2,359				9,590
	セグメント利益	223	150	369	217	961	296				1,130
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,498	1,569	1,819	1,621	6,508	1,610				6,620
	事業利益	126	62	237	109	536	132				560
商業・産業プリンティング	売上収益	653	652	691	681	2,679	748				2,970
	事業利益	97	87	131	107	424	163				570
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	529	573	590	481	2,174	556				2,270
	セグメント利益	67	79	97	71	315	77				370
マニファクチャリング関連・ウェアラブル	売上収益	473	452	439	433	1,799	453				1,850
	セグメント利益	7	10	-15	-18	-15	-3				0
全社費用・その他、調整額	売上収益	-5	-10	-5	1	-20	-3				-10
	セグメント利益	-143	-151	-153	-166	-614	-135				-650
	売上収益	3,148	3,236	3,535	3,218	13,139	3,366				13,700
	事業利益	155	88	298	103	647	234				850
連結合計	ROS	5.0%	2.7%	8.5%	3.2%	4.9%	7.0%				6.2%
研究開発費		109	116	109	106	442	107				440
設備投資	プリンティングソリューションズ	67	64	167	142	441	91				440
	ビジュアルコミュニケーション	12	9	20	18	60	11				80
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	16	22	34	49	123	13				140
	全社費用・その他	9	20	19	26	75	11				70
減価償却費 及び償却費	プリンティングソリューションズ	103	103	105	106	418	109				440
	ビジュアルコミュニケーション	24	24	23	22	94	23				100
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル	25	25	26	26	103	27				100
	全社費用・その他	17	17	17	17	69	16				60
営業CF		273	341	523	516	1,655	353				1,200
FCF		63	235	394	371	1,065	155				500

## 海外売上収益

為替レート(円)	USD	129.64	138.30	141.55	132.28	137.18	144.47	147.78	148.31	155.79
	EUR	138.11	139.28	144.23	141.97	149.40	157.20	158.98	161.07	167.74

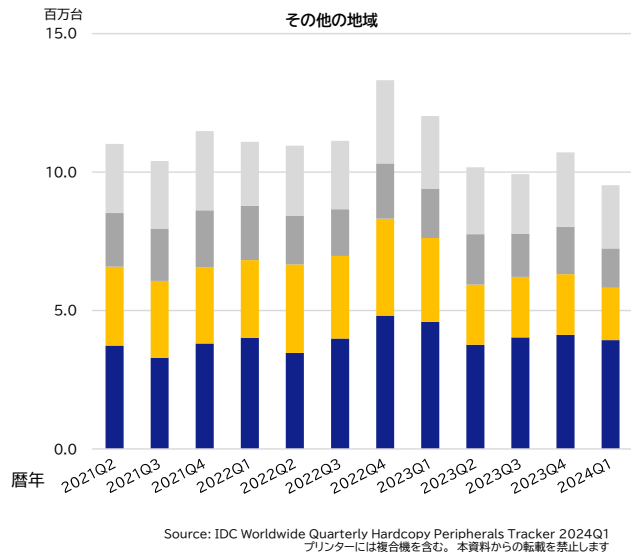
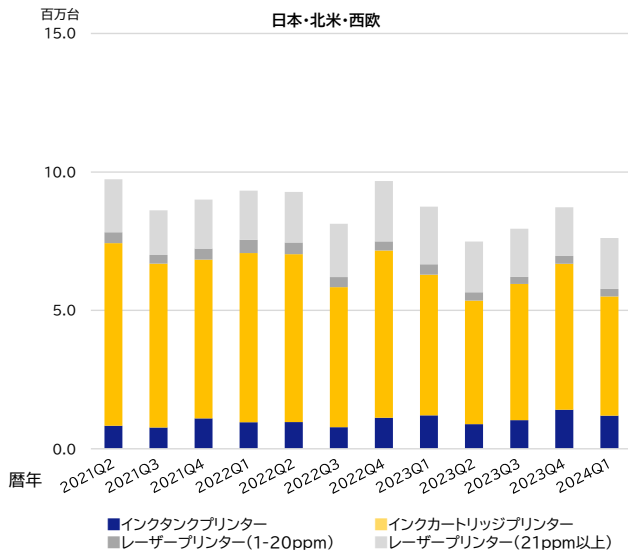
売上収益(億円)	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	対前年同期
米州	1,000	1,115	1,143	1,110	1,069	1,062	1,080	1,087	1,145	+76
欧州	573	683	785	780	621	708	842	721	679	+57
アジア・オセアニア	884	1,005	1,009	891	928	939	976	867	1,021	+92
海外売上収益計	2,457	2,804	2,938	2,782	2,619	2,710	2,898	2,677	2,846	+227
連結合計	2,978	3,352	3,612	3,359	3,148	3,236	3,535	3,218	3,366	+217

構成比	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1
米州	33.6%	33.3%	31.6%	33.1%	34.0%	32.8%	30.6%	33.8%	34.0%
欧州	19.2%	20.4%	21.8%	23.2%	19.7%	21.9%	23.8%	22.4%	20.2%
アジア・オセアニア	29.7%	30.0%	27.9%	26.5%	29.5%	29.0%	27.6%	27.0%	30.3%
海外売上収益計	82.5%	83.7%	81.3%	82.8%	83.2%	83.7%	82.0%	83.2%	84.6%

## 従業員数

期末従業員数(人)	2022/6末	2022/9末	2022/12末	2023/3末	2023/6末	2023/9末	2023/12末	2024/3末	2024/6末	対前年同期
国内	20,128	20,131	20,174	20,124	20,633	20,535	20,323	20,209	20,702	+69
海外	59,887	62,742	64,308	59,782	57,932	55,764	54,649	54,255	56,969	-963
連結合計	80,015	82,873	84,482	79,906	78,565	76,299	74,972	74,464	77,671	-894

# A4サイズプリンターのタイプ別市場推移





イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション	
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル		
事業 ・ 主要製品	<b>オフィス・ホームプリンティング</b> オフィス・ホームIJP SOHO・ホーム 大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル オフィス共有 大容量インクパックモデル (RIPS) ラインインクジェット複合機 (LIJ) オフィス向けインクカートリッジモデル PaperLab SIDM スキャナー レーザープリンター	<b>商業・産業プリンティング</b> 商業・産業IJP 完成品ビジネス フォト コーポレート サイナー ラベルプリンター テキスタイル ラベル印刷機 <b>プリントヘッド外販ビジネス</b> IJプリントヘッド、インク 小型プリンター他 小型プリンター 小型ラベルプリンター	<b>プロジェクター</b> 高光束 超短焦点 スタンダード ホーム・スマート <b>HMD</b> 	<b>マニファクチャリングソリューションズ</b> ロボット スカラ 6軸 <b>オプション</b> 小型射出成形機 	<b>ウェアラブル機器</b> Orient Star Orient ムーブメント セイコービジネス 	<b>マイクロデバイス他</b> マイクロデバイス 水晶デバイス 半導体 エプソンダイレクトPC 
	微細合金粉末 	表面処理加工 				

ESG  
インデックス  
組み入れ・  
格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダース指数
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

ESG  
関連表彰・  
銘柄選定  
など

- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「ブライム」
- CDP企業調査2023「Aリスト」企業 (分野:気候変動、水セキュリティ)
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「ゴールド」
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」
- MSCI ESG レーティング「AAA」
- 海外主力工場でRBA\*1監査の最高位プラチナ認証取得(インドネシア)
- 24回グリーン購入大賞「大賞・経済産業大臣賞」:2023年12月
- 2023年度省エネ大賞(製品・ビジネスモデル部門)「資源エネルギー庁長官賞」:2023年12月
- コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®2023「Winner Company」:2024年1月
- 第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン(環境サステナブル企業部門)「環境大臣賞・銀賞」:2024年2月
- 健康経営銘柄2024\*2 :2024年3月
- 日経225 :2017年から選定

GPIFが採用する  
ESG国内指数6件全てに選定

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダース指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX  
カーボン  
エフィシエント  
指数

MORNINGSTAR GenDi J  
Japan ex-REIT Gender Diversity  
Tilt Index  
TOP CONSTITUENT 2024

\*1 The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟

\*2 健康経営の目的・体制 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

## 投資家情報



- IRライブラリ
  - ▶ 経営・事業戦略説明会 <https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html>
  - ▶ 統合レポート <https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html>
- 株主還元 <https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html>

- パーパス <https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/>
- 長期ビジョン <https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/>

## サステナビリティ



- サステナビリティ経営 <https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/>
- 環境 <https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>
- 人材 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/>
- ESGデータ <https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/>

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービスなどが利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

## ■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。なお、業績などに影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

## ■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

## ■ 本説明資料における表示方法

- 数値:表示単位未満を切り捨て
- 比率:円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度:断りが無い限り、会計年度を示す

**EPSON**